

港湾海岸工事業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	14~15	工事現場製作ヤードで、型枠組立作業をしている時、ボルト穴を合わせる為、バー ルで調整していた、安全帯を掛け忘れており、勢い余って高さ3.6m下に後向きに転 落し下半身を強打した。	51	10 ~ 29
3	9~10	岸壁に係留している台船上にある65tクレーンのウェイト部分の巻上ドラムにおい て、乱まきワイヤーの点検作業を行うため、同ウェイト部分に上がり安全帯をしよ うと支柱にかける際、ワイヤーフックにつまづきバランスを崩し、ウェイト部分に 倒れこみ2m下の台船デッキに落下した。ウェイト部分に倒れた際に両脚を打撲 し、台船デッキに落下の際にはデッキ上にあったH鋼で左手を強打し骨折した。	26	10 ~ 29
7	9~ 10	排水路補修工事の現場で、安全管理作業中、擁壁の幅1mの天端に土のうを設置後、 その土のうにつまづき身体のバランスをくずし、高さ4.1mの擁壁伝いに舗道のコン クリート床面に滑り落ちた。	70	10 ~ 29
9	10~ 11	試験礁設置工事の現場代理人であり、主任技術者である被災者は災害当日鋼製魚礁 を起重機船（No38ゼンエイ）に積込中、作業写真を撮るために起重機船に乗り込も うとした、その際に起重機船の階段状になっている所でバランスを崩し転倒し、尻 餅をつき負傷した。	69	10 ~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)